

主な意見、要望等	市長、担当部署の回答、対応状況等	最新の進捗状況等
市民病院が独立行政法人にならないで、市民のために十分命を守る施設として存続してほしい。	今後の経営形態については、市議会議員と一緒に勉強会を開いて検討したい。	今後の経営形態につきましては、地域連携等を考慮しつつ、市民が安心できる医療体制の維持を最優先に検討を進めています。
・市民病院は毎年14億円前後の赤字を出している。一方で和泉市は市民病院を指定管理者制度を導入し、毎年12億円前後の赤字が解消された。 ・経営形態が変わっても、病院そのもののレベルは下がらないと思う。 ・14億赤字になるのは理由がわかっているのか？	一般会計から病院事業会計への繰り出しは、総務省が示す公営企業繰出基準に基づいて行われており、その所要額の一部は国から一般会計に対して地方交付税等による財政措置がされている（令和6年度：繰出額1,400,000,000円、地方交付税措置額949,405,523円）。今後の経営形態については、市議会議員と一緒に勉強会を開いて検討したい。市民病院がなくなるということはない。	今後の経営形態につきましては、地域連携等を考慮しつつ、市民が安心できる医療体制の維持を最優先に検討を進めています。
市民病院で14～5年前に大きな心臓バイパス手術した。ある程度直ったら町医者に行けと言われた。そんなことすると余計赤字が増えるんじゃないか？	かかりつけ医と専門病院との機能分担は、効率的で質の高い医療提供体制を維持する上で極めて重要である。	
・市民病院の赤字は今後どう改善するのか？ ・独法化の目的がアクションを迅速にできるからとのことだが、不採算の部分を切り捨てるのではないか？ ・小児科開業医は多いが入院施設が少ない。高度医療の提供も必要。かかりつけ医が増やしてほしい。	一般会計から病院事業会計への繰り出しは、総務省が示す公営企業繰出基準に基づいて行われており、その所要額の一部は国から一般会計に対して地方交付税等による財政措置がされている（令和6年度：繰出額1,400,000,000円、地方交付税措置額949,405,523円）。今後の経営形態については、市議会議員と一緒に勉強会を開いて検討したい。市民病院がなくなるということはない。その他ご意見として承る。	今後の経営形態につきましては、地域連携等を考慮しつつ、市民が安心できる医療体制の維持を最優先に検討を進めています。
総合病院が近くにないので山手地区に民間病院を誘致などしてはどうか。	難しい問題ではある。ご意見として承る。	
市民病院の赤字分は一般財源で賄われている訳ではない。結局は、14億円というのは地方交付税が入ってくる。民間委託すれば、医師が来ない診療科がなくなる可能性がある。市民の健康にかかわる。	一般会計から病院事業会計への繰り出しは、総務省が示す公営企業繰出基準に基づいて行われており、その所要額の一部は国から一般会計に対して地方交付税等による財政措置がされている（令和6年度：繰出額1,400,000,000円、地方交付税措置額949,405,523円）。	
市民病院について、14億を捨ててるような言い方だが市民のために使っているもの。市長の考え一つで決まる。民間になったら市からお金出ないということはない。	仮に、指定管理制度を採用しても、地方交付税等による財政措置がなされるものと理解している。	
市民病院について、自治体病院の役割として不採算部門をしっかり守っていく役割分担はあると思う。	救急や産科などの「不採算医療」を維持することは、公立病院としての重要な役割であり、市の財政負担（繰出金）が不可欠。	
市民病院は民営化するのか。	民営化は考えていない。地方独立行政法人への移行は見直すことになった。市民が安心できる医療体制をどう維持するかを考えていきたい。	今後の経営形態につきましては、地域連携等を考慮しつつ、市民が安心できる医療体制の維持を最優先に検討を進めています。